







| 議長 | 副議長 | 局長 | 次長 | 係長 | 係員 |
|----|-----|----|----|----|----|
| | | | | | |

行政視察報告書

令和5年8月8日

笠岡市議会議長 殿

(出張者) 議員 桑田 昌哲  議員 
 議員  議員 
 議員  議員 

下記のとおり行政視察を実施したのでその結果を報告します。

記

行程

8月8日 14時00分 ～ 16時30分

| | |
|-------|--|
| 住 所 | 8/8 広島県広島市南区金屋町1-17 広島ワークピア 4F |
| 電 話 | 8/8 050-6868-9678 |
| 視察案件 | 8/8 上下水道会計の仕組みセミナー |
| 期 日 | 令和5年8月8日(月) 14時00分から16時30分まで |
| 応 対 者 | 別紙名刺のとおり |
| 視察状況 | 別紙写真のとおり |
| 訪問施設 | 議員力アップ基礎研修 広島ワークピア 4F |
| | <p>【視察目的】</p> <p>議員力アップ基礎研修 甲南大学経済学部教授 足立 泰美氏講習</p> <p>講座内容 上下水道会計の仕組み</p> <p>公営企業会計のおさらい・水道管の老朽化問題・最新事例から学ぶ水道問題</p> <p>笠岡市の上下水道との比較から現在実行しようとしている水道料金値下げ課題と</p> <p>上水配管の状況、上下水道業務に携わる人材課題をどの様に考えるべきか</p> <p>笠岡市上下水道課が考えているものと地域状況の勉強をした。</p> |

1、全国的に人口減少をする中で、安全な水資源を利用できることを考える

2、設備的・人為的にトラブルを防止するための施策

3、近年の大雨に対して被害の減少と予防を考える

今回の教育内で私は、この三項目に注視した

1、全国的に人口減少をする中で、安全な水資源を利用できることを考える

人口が減少する事は確実であり、その為に利用量・料の減少も出て来る問題である。

設備の更新・補修も進まない状態もあるので、今後の事を真剣に考えなければ企業として

自立が難しい状況となって行くとの話であり、個人的にも同意見である。

国は広域化と言う指針も出しているが、その県・市がどの様に進むべきかを見定めなければいけない。広域化と言っても、管理形態・地元管理などする人がいるのかここでも人材問題が出てきている。

官民連携などもあるが、何をすべきか・何をしたいのかを明確にするべきもの

市民の方には、蛇口を開いたら安心な水がいつでも飲めることを継続しなければ

それが絶対的な使命である。

2、設備的・人為的にトラブルを防止するための施策

基幹管路の老朽化の更新と増強・それを計画実行するべき技術員の確保が必要である

基幹管路の老朽化や使用地区での劣化状況は目視では確認できない、どの様にするべきか

流量、データでの予測補正をするが、老朽更新と耐震工事に合わせて基幹管路は補修

この状況でも、大きな事故(配管破裂や漏水からの断水)も発生しており、早期基幹管路

補修が必要管路寿命は耐用年数 40 年と定めているが、更新が進んでいない市町村が多い

笠岡の水道にしても基幹管路はある程度更新・耐震化が進んでいると言われているが、

利用の観点から考えると、基幹管路だけでなく枝管までの補修が必要である。確認すべき事、

技術職についても今後減少し、強化が必要であると言われる。笠岡市としても状況は同じで

技術職員は減少している。ただし、現在は嘱託での対応をしているので人数的には問題ない

状態であるが、今後の事を考えると正職員としての採用と技術伝承は必要である。

その事を、笠岡市上下水道局はどの様に感じ考え実行しようとしているのか確認をするべき

当局と第三者の話をもう少し聞いていくべき内容だと感じ、今後も状況確認をしていく

3、近年の大雨に対して被害の減少と予防を考える

昨今の線状降水帯に対して、どこまで本市が対応できるのかを検討する必要があると考える

講義内でもゲリラ豪雨からの災害・被災をなるべく減少させなければと言う事もあり、

現状の笠岡市を見て大丈夫なのかを数値的には明確には出来ないだろうが、確認はすべき

新興住宅街、既存の住宅以外にも農道・林道など当局へ聞いていく事にする。

安心・安全・当たり前の生活を継続できるものにして行く為に。

私的に、全国が考えている水道料金問題と逆行をしようとしている笠岡市上下水道局の案件が本当に問題ないのか、料金を下げたが、補修が出来なくなる、水が出なくなることは決してあってはいけない事。結果値下げ後、すぐさま値上げをするそれも以前より高くなっては本末転倒である。十分内容の精査を市ながら分かり易い協議をしていく事が必要であると感じ今後もこの課題を注視していく。講師の方へ笠岡市上下水道の考えを質問した。

その市の考えがあるので一概には言えないが水道料金の値下げをする市がある事は、珍しいとの回答を貰う。別格に収支がそんなにいい訳でもないが、頑張るんですねとの話が終わってしまった。

| | |
|------|----------------|
| 添付書類 | 視察資料 視察状況写真 名刺 |
|------|----------------|